

木津川アート
2012

ドキュメント

—会期中16日間の記録—

朝礼

11月3日(土)

「整列！前にならえ！」の号令が校庭に響きます。集まった人たちは戸惑いながらもきれいに並びました。校長先生(市長)のおはなし、木津川アート旗掲揚、各係からの連絡事項が伝えられ、こうして「木津川アート 2012 旧当尾小学校編」が始まりました。



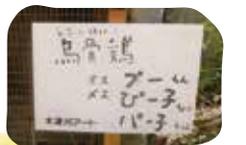
小学校ぜんぶが、ミュージアム。

— 校内の開催風景 —

明治8年創立の歴史ある学校ですが、平成8年に建て替えられました。古くて新しい小学校丸ごとがメイン会場となり、展示のみならずワークショップ、パフォーマンスの数々が繰り広げられました。給食、購買部も、多くのお客さんで賑わいました。



「せんせい！本物の先生よりせんせいらしいです！」



飼育小屋には、鳥骨鶏(うこっけい)が出現。



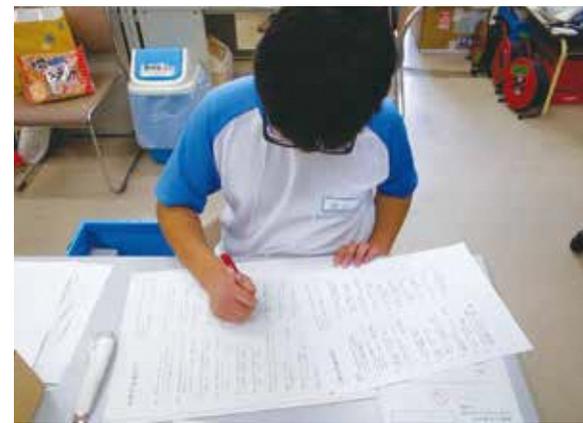
「電車の中の〇〇くさい人」(作：川中政宏) 女子更衣室にて上映。

木津川市 検定

随時実施



当尾小学校卒業生が、木津川アートをきっかけに集まりました。みなさん、とても楽しそう！



ボクたち中学生が問題をくれました。



うひょ～

テスト0点！



テストで使用した鉛筆が参加賞でした。

同志社大学「木津川市プロデュースプロジェクト～中学生と考えるまちづくり」の一環として、木津川アートとのコラボレーション企画が「木津川市検定」です。プロジェクト科目を専攻する同志社大学生の指導の下、泉川中学校と木津第二中学校の生徒たちが参加しました。

中学生が調べた木津川市に関する問題をテスト用紙にして、一般参加者が挑戦します。「そうか～、知らなかったワ」「ちょっとむずかしいなあ」と照れながら、中学生に採点してもらった元小学生たち。逆転の光景の中、楽しい交流がおこなわれました。まちづくりや企画について興味を持つ中学生たちの積極性に、明るい木津川市が見えました。

kizugawa
art
2012



一心堂の塚田さんによる紙芝居が、昼休みに行われました。見る人をぐいぐい惹きつけるパワーがすごい！続きが見たかったよ～。



ハコリスは僕たちが宣伝用に考えたゆるキャラです



むずかしいなあ…。

給食

会期中の土日・予約制

地元の野菜をふんだんに使用、メニューにも味にもこだわった給食は、初日から大人気でした。小さな机と椅子に座って隣り合わせた人どうし会話を楽しみ、ホントだ、給食の時間が蘇ってきた！みんなの笑顔がボランティアさんの励みにもなります。「いただきます」「ごちそうさまでした！」「ありがとう」給食の匂いと元気な挨拶が飛び交うすてきな場所でした。



購買部

いわゆるミュージアムショップ。木津川アート参加作家の作品、木津川アートオリジナルグッズをはじめ、文房具、地元ブランドのお菓子やお茶などを販売しました。焼きたてパンや、地域の名産<当尾ごぼう>、寒い雨の日の煎れ立てコーヒーなどが喜ばれました。



オリジナルグッズ

スタンプラリーのデザイングッズや、2012キャラクター「ランドセル背負ったハヤシクン」グッズも人気でした。



一番人気!
当尾ごぼう



一筆箋

トートバッグ



Tシャツ



ノート

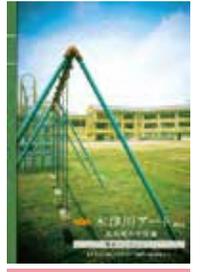


手ぬぐい

お土産に
大人気でした!



ウィンドブレーカー



総合パンフレット

音楽会

11月10日(土)

Yasushi Yoshida Chromatic Quintet Live
in Kizugawa Art 2012



体育館のステージや壁面を最大限に活用した音楽会。演奏を聴くだけでなく、木津川アート参加アーティストや観客も巻き込む参加型ライブにしたい、スタッフの熱い思いが形になりました。予想を超える観客数と大きな拍手に部員一同感激！



上映会

11月4日(日)
11月11日(日)



「ハーブ&ドロシー」

とらつきにくい現代アートでも、映画を通せば少しずつ近づけるかも。そんな部員の思いから実現しました。当尾公民館の2階。座布団に座りながらの鑑賞会でした。

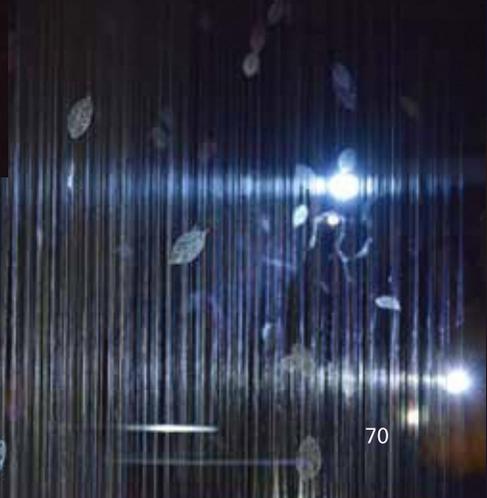
© 2008 Fine Line Media, Inc. All Rights Reserved.

夜のツアー

11月13日(火)



懐中電灯を片手に作品を巡るツアー。夜の小学校探索なんて大人だってドキドキします。ライトに照らされて、昼間とは全く違った顔を見せる作品たち。想像以上に美しく神秘的な世界に、感動の連続でした。



あったかいおぜんざい
おいし〜い!

里の景色も楽しみながら。

— 周辺コース —

小学校周辺にも見どころ満載。

森八幡宮までのアップダウンのあるコースを、マップを片手にまわります。「しんどかった」「雨さえなければ」「景色がすばらしかったです」「道をまちがえた」「汗が心地よかった」アンケートからはさまざまなエピソードがうかがえます。当尾を巡る小さな旅のようでした。



当尾ごぼうの収穫に
出逢えました。



ゲートボールをお楽しみ中に
失礼しま〜す！



公民館では美味しいお茶が
振る舞われました。



遠足

平日開催

当尾を熟知する「NPO 法人ふるさと案内・かも」による当尾ツアー。コースを換えて平日毎日行われました。「地元に住んで30年以上になるのに、知らない所が多いことを知りました。(木津町)」「素敵な景色と美味しいお茶をいただき幸せな半日でした。(加茂町)」「案内人さんの説明が大変良かったです(城陽市)」～参加者アンケートより～。

吊り店

土日開催



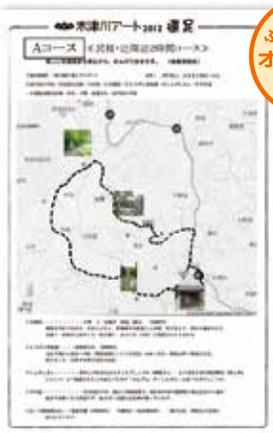
当尾は、吊り店発祥の地と言われています。商工会から吊り店屋台をお借りして、小学校周りで市民のフリーマーケットを展開しました。地元の方々がお野菜を販売した「たかさり農園」も大盛況。季節がら店番は「寒かった～」。



岩船寺にて



金蔵院にて



ふるさと案内 オリジナル マップ



民家の縁側を借りて一休み



「たかさり農園」



民家の玄関先にも吊り店登場

開催期間中 JR加茂駅

JR加茂駅前の案内所で
お迎えいたしました！



バス

木津川アート期間中、
コミュニティバスが
増便されました。



看板・道しるべ

景観にやさしい石の道しるべは、
地元石材屋さんの協力で実現しました。



スタンプラリー



手彫りのスタンプは、毎回好評です。
8個集めるとオリジナルバッジがもれなく
プレゼントされました。



マスコット キャラクター

ランドセルを背負った変なおじさんは、イラストレーターさんの名前から「ハヤシクン」と呼ばれ、みんなにかわいがられました。



ハヤシクン

